

編集後記

全国規模に及ぶ旧態依然としたコロナ禍の中、本年度も『深浦円覚寺所蔵古典籍調査報告書』第四集《県重宝指定記念号》の刊行の運びとなりました。

第四集では、深浦円覚寺聖教の県重宝指定を記念して開催いたしました成果報告会（オンライン型フォーラム）を基調として、深浦円覚寺古典籍調査成果をまとめました。第一部・研究編には、「寺院資料調査から地域文化振興を考える——深浦円覚寺古典籍聖教の県重宝指定によせて——」と題して、特別講師として御登壇いただいた、阿部泰郎先生・三村三千代先生・渡辺麻里子先生による講演録、および意見交換をライブの形で掲載しました。また、第二部・目録編には県重宝指定を受けた全二・三三五点の目録を収載しました。そして、第三部・活動報告編には、活動履歴と併せてフォーラムのWeb視聴参加者より寄せていただいたアンケート結果ならびに各種コメントを集録しております。なお、表紙写真にはフォーラム内でも言及された『御遺告秘決』（右上）、『修験道十八箇警策』（左上）、『書籍献納願』（右下）、『大般若経』（左下）の一部を掲載しました（いずれも深浦円覚寺所蔵）。

未曾有の社会環境にあつて、本プロジェクト事業が継続展開できましたのも、ひとえに円覚寺ならびに深浦町の方々をはじめとする関係者各位の御理解と御協力があつてのことです。改めまして深謝申し上げます。

本年度も、公益財団法人青森学術文化振興財団より「深浦町における歴史文化資源調査とその活用による津軽青森地域振興事業」に対する助成を受けて刊行の運びとなりました。青森学術文化振興財団による研究助成は最終年度の節目となりますが、地域に密着した調査活動の持続と全国規模での学術的発展という双方向的な展開を切り拓くべく、引き続きの御支援を賜れますと幸甚に存じます。

末筆ながら、本報告書の製作刊行に尽力くださった、有限会社小野印刷所の御担当のみなさまに感謝申し上げます。

深浦円覚寺古典籍保存調査プロジェクトチーム 原 克昭

執筆者紹介（掲載順・敬称略）

《特別講演》

阿部 泰郎
名古屋大学 名誉教授

龍谷大学文学部 教授

三村 三千代
八戸学院大学短期大学部客員教授

渡辺 麻里子
大正大学文学部 教授

前弘前大学人文社会科学部 教授

《趣旨説明》

原 克昭
弘前大学人文社会科学部 准教授

二〇二二年一月現在